

PRISMA Extension for Network Meta-Analysis:**Network Meta-analysis を用いたシステマティックレビューのためのガイドライン**

ある疾患に対する治療方法の選択肢が増えていき、それに伴って臨床試験が膨大になっている中で、それらの競合する治療方法の効果の推定を同じ条件下にて行うよう強調されてきている。しかし、希少疾患のようにそのような比較を改めて行うことが困難な場合がある。そのような中において、システマティックレビューやメタアナリシスが新たな見方をされてきている。システマティックレビューにおいて従来のように同一の 2 群比較を行った試験だけでなく、関連する全ての治療法の比較について過去に行われた 2 群や多群比較試験を系統的に集め、それらの結果を治療法のネットワーク全体で評価するネットワークメタアナリシスという手法が注目されている。この手法が適切な条件下で用いられたら、その結果を用いることで今までの 2 群比較によるメタアナリシスによる結果よりも良い意思決定ができるのではないかと期待されている。

このネットワークメタアナリシスに対しては批判的な意見もある。そのメインとなる理由は、ネットワーク全体で評価する際の直接比較と間接比較を統計的に統合する際におく仮定の評価が困難であることである。それに対して多くのモデルが考えられてきている。これらを受けて、ネットワークメタアナリシスを用いたシステマティックレビューがよりエビデンスレベルの高いものとなるように、メタアナリシスにおけるガイドライン：PRISMA を拡張させた、PRISMA Extension for Network Meta-Analysis を Hutton が発表した。本発表ではこのガイドラインの紹介を、例を用いながら行う。

主要文献

- Hutton B, Salanti G, Caldwell DM, Chaimani A, Schmid CH, Cameron C, et al. The PRISMA extension statement for reporting of systematic reviews incorporating network meta-analyses of health care interventions: checklist and explanations. *Ann Intern Med* 2015;162(11):777-784.